

より高度な医療安全のためのバーコードの活用に向けて

2022年12月の医薬品等の容器へのGS1コードの記載義務化を契機に医療機関における医薬品の適正な管理のみならず、RWDの利活用のための基盤整備を進めることは極めて重要であり、新型コロナウイルス感染症対策においても医薬品の納品と購入・調剤・実際の使用状況が連動するようなデータ基盤が整備されることで政府の安全対策措置がより迅速かつ精度が高くなることが期待されています。本研究班では、法的に記載義務付けられたGS-1コードを、医薬品適正使用確保の視点で利活用するための方策を検討するため、各医療機関における実態調査を行うとともに、「ビックデータ解析」を行うために必要な環境整備、及び臨床の場に存在する薬剤師等に求められる資質等についても検討を行い、提言を行う予定です。そこで、本報告会では、1年目の調査研究にご尽力されている先生方をお招きし、現状の課題と今後の在り方について、様々な視点から議論したいと思います。

2023年2月23日(木)

10:00~12:30

配信：オンライン (Zoom Webinar配信)

登録用URL: https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_NNXLDNOnRbWnbOSmDivYRg

プログラム

司会：みなと赤十字病院 薬剤部 男全 昭紀 先生

座長：一般財団法人 医療情報システム開発センター 土屋 文人先生
基調講演 (10:00-10:30)

研究班の目的と研究計画の進捗について

亀田医療大学 舟越 亮寛先生

事例紹介 1 (10:30-10:50)

医療機関等におけるバーコードの利活用と課題・提言 1

帯広厚生病院 佐藤 弘康先生

事例紹介 2 (10:50-11:10)

医療機関等におけるバーコードの利活用と課題・提言 2

奈良県立医科大学病院 池田 和之先生

事例紹介 (11:10-11:30)

バーコードデータを利活用するための課題・提言

九州大学病院 高田 敦史先生

特別講演 (11:40-12:10)

諸外国のGS1バーコードの法整備と現況

GS-1japan 植村 康一先生

ディスカッション (質疑応答) (12:10-12:30)

閉会 亀田医療大学・亀田総合病院 舟越 亮寛

※ご視聴の際は、録音、録画、画面の写真撮影はご遠慮ください。

主催：厚生労働行政推進調査事業費医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業研究班

問合せ先：亀田医療大学・亀田総合病院 TEL：070-7097-3213 (担当：森)